

総 括

2019年のJRDR年次調査結果を総括すると、わが国の慢性透析患者数は344,640人と依然として増加しているが、その増加速度は鈍化している。2012年の将来予測では2021年にピークを迎えることになっており、この先の患者動態を注視していきたい。導入患者の平均年齢は今回初めて70.42歳と70歳を超え、年末患者の平均年齢も69.09歳と高齢化も依然として進行している。

導入患者の基礎疾患では、1998年以降2018年までは糖尿病が第1位、慢性糸球体腎炎が第2位であったが、2019年では腎硬化症が第2位となった。導入患者に占める糖尿病性腎症の割合は近年減少傾向にある。

わが国の透析液の生物学的水質は非常に高くJSDT基準の遵守度も高い水準を維持している。2017年から調査が開始された化学的汚染基準については、化学的汚染物質の測定、残留塩素の測定など本学会の水質基準へのコンプライアンスが徐々に改善していた。持続的な調査が、透析液の化学的汚染に対する普及啓発の役割を担っていることが示唆された。

透析モダリティについてはHDF療法の持続的な増加、PDやHHDの増加等、多様化が進んでいると思われる。わが国の特色であるPDの併用療法の比率は約20%であり、ここ数年変わりはない。

2019年調査では2009年から10年ぶりにCKD-MBD治療の現況について総合的に調査が行われた。

この間に上市されたカルシミメティクスは31.2%の症例に使用されており、ビタミンDと共にCKD-MBD治療の重要な一角を担っている。治療形態の変化によりCa、P、PTHの治療目標値の達成率も向上し、副甲状腺腺腫への外科的治療の頻度が激減した。CKD-MBD治療においてカルシミメティクスが治療の中心になるにつれ、低Ca血症の増加による不整脈の発生、またそれに伴う突然死の増加等の臨床的危惧があり、今回初めて心電図所見が調査された。難治性不整脈のリスクとなるQTcの延長が透析患者においてより多く認められることが明らかになった。今後これらの情報を元に、安全で有効な治療パターンの提案やガイドラインの策定が期待される。

■地域協力委員（敬称略）

（北海道）前野七門，（青森）大山 力，（岩手）清野耕治，（宮城）佐藤壽伸，（秋田）佐藤 滋，（山形）伊東 稔，（福島）風間順一郎，（茨城）植田敦志，（栃木）齋藤 修，（群馬）安藤哲郎，（埼玉）小川智也，（埼玉）熊谷裕生，（千葉）寺脇博之，（千葉）林 晃一，（東京）安藤亮一，（東京）阿部雅紀，（東京）柏木哲也，（東京）濱田千江子，（神奈川）柴垣有吾，（神奈川）平和伸仁，（新潟）島田久基，（富山）石田陽一，（石川）横山 仁，（福井）宮崎良一，（山梨）深澤瑞也，（長野）上條祐司，（岐阜）松岡哲平，（静岡）加藤明彦，（静岡）森 典子，（愛知）伊藤恭彦，（愛知）春日弘毅，（三重）小藪助成，（滋賀）有村徹朗，（京都）橋本哲也，（大阪）稲葉雅章，（大阪）林 晃正，（大阪）山川智之，（兵庫）西 慎一，（兵庫）藤森 明，（奈良）米田龍生，（和歌山）根木茂雄，（鳥取）中岡明久，（鳥根）伊藤孝史，（岡山）杉山 齐，（広島）正木崇生，（山口）新田 豊，（徳島）岡田一義，（香川）山中正人，（愛媛）菅 政治，（高知）大田和道，（福岡）田村雅仁，（福岡）満生浩司，（佐賀）池田裕次，（長崎）錦戸雅春，（熊本）宮田 昭，（大分）友 雅司，（宮崎）藤元昭一，（鹿児島）野崎 剛，（沖縄）大城吉則

文献

- 1) 中井滋. 日本透析医学会統計調査の歴史. 透析会誌 2010; 43: 119-52.
- 2) 政金生人. 透析療法の動向～統計調査から見えてくるもの～. 透析会誌 2016; 49: 211-8.
- 3) 和田篤志, 新田孝作, 花房規男, 他. WADDA system の使用法と有効活用. 透析会誌 2019; 52: 673-8.
- 4) 厚生労働省, 文部科学省. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」
http://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1443_01.pdf (2020.11.20 最終アクセス)
- 5) 厚生労働省, 文部科学省. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成29年2月28日一部改正）」
https://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1859_01.pdf (2020.11.20 最終アクセス)
- 6) https://upload.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr_view.cgi?recptno=R000021578 (2020.11.20 最終アクセス)
- 7) 中井滋, 若井建志, 山縣邦弘, 井関邦敏, 椿原美治. わが国の慢性維持透析人口将来推計の試み. 透析会誌 2012; 45: 599-613.

- 8) United States Renal Data System. 2018 USRDS Annual Data Report: Epidemiology of kidney disease in the United States. National Institutes of Health, National Institute of Diabetes and Digestive and Kidney Diseases, Bethesda, MD, 2018.
- 9) 新田孝作, 政金生人, 花房規男, 他. わが国の慢性透析療法の現況 (2017年12月31日現在). 透析会誌 2018; 51: 699-766.
- 10) 秋葉隆, 川西秀樹, 峰島三千男, 他. 透析液水質基準と血液浄化器性能評価基準 2008. 透析会誌 2008; 41: 159-67.
- 11) 峰島三千男, 川西秀樹, 阿瀬智暢, 川崎忠行, 友雅司, 中元秀友. 2016年版透析液水質基準. 透析会誌 2016; 49: 697-725.
- 12) Tominaga Y, Kakuta T, Yasunaga C, et al. Evaluation of Parathyroidectomy for Secondary and Tertiary Hyperparathyroidism by the Parathyroid Surgeons' society of Japan. Ther Apher Dial 2016; 20: 6-11.
- 13) 慢性腎臓病に伴う骨・ミネラル代謝異常の診療ガイドライン. 透析会誌 2012; 45: 301-56.
- 14) Genovesi S, Dossi C, Viganò MR, et al. Electrolyte concentration during haemodialysis and QT interval prolongation in uraemic patients. Europace 2008; 10: 771-7.
- 15) Hiyamuta H, Tanaka S, Taniguchi M, et al. The Incidence and Associated Factors of Sudden Death in Patients on Hemodialysis: 10-Year Outcome of the Q-Cohort Study. J Atheroscler Thromb 2020; 27: 306-18.
- 16) Genovesi S, Rossi E, Nava M, et al. A case series of chronic haemodialysis patients: mortality, sudden death, and QT interval. Europace : European pacing, arrhythmias, and cardiac electrophysiology : journal of the working groups on cardiac pacing, arrhythmias, and cardiac cellular electrophysiology of the European Society of Cardiology 2013; 15: 1025-33.
- 17) Kuo HL, Liu YL, Liang CC, et al. Prolonged QT interval is linked to all-cause and cardiac mortality in chronic peritoneal dialysis patients. Nephrology (Carlton) 2017; 22: 436-40.
- 18) Deo R, Shou H, Soliman EZ, et al. Electrocardiographic Measures and Prediction of Cardiovascular and Noncardiovascular Death in CKD. J Am Soc Nephrol 2016; 27: 559-69.
- 19) Itoh H, Crotti L, Aiba T, et al. The genetics underlying acquired long QT syndrome: impact for genetic screening. European heart journal 2016; 37: 1456-64.
- 20) 日本循環器学会, 日本心臓病学会, 日本不整脈心電学会. 遺伝性不整脈の診療に関するガイドライン. 2018.
- 21) Matsumoto Y, Mori Y, Kageyama S, et al. Changes in QTc interval in long-term hemodialysis patients. PLoS One 2019; 14: e0209297.
- 22) Vazquez E, Sanchez-Perales C, Garcia-Garcia F, et al. Atrial fibrillation in incident dialysis patients. Kidney Int 2009; 76: 324-30.
- 23) 日本臨床腎移植学会・日本移植学会. 腎移植臨床登録集計報告 (2019) 2018年実施症例の集計報告と追跡調査結果. 移植 2019; 54: 61-80.